



茨城県結城市立結城中学校 1年

茂 呂 優 香

「おはよう」

「お、おはよう」

と、私がいさつすると真っ先に少しどもりながら、兄は返してくれます。

私の兄は、産まれた時から障害があります。うまく話せなかったり、理解出来なかったり、騒いだりしてしまいます。ですが、物をきちんと片付けたり、お手伝いをしてくれます。周りの人からは、いつも大変だね、お世話してえらいね、と言われます。周りの人には、面倒な事に見えるのかもしれませんが、私はそんな風には思いません。兄は、学校で一生懸命、授業に取り組んでいたり、学童でも、お手伝いをしていると聞き、私にとって自慢の兄です。家でも、兄に助けられている事は沢山あります。兄と暮らしていると、面白い事も沢山あります。壁や、各部屋のドアに、ふせんを何枚も貼るのです。また、物を捨てる時に、バイバイ、とお別れをしてから捨てるのです。大好きなジャニーズの歌をノリノリで歌ったり、いつも愉快的な事ばかりです。けんかをする事もありますが、日々新しい発見があって、楽しいです。

その反面、周りの人から言われた通り、大変な事も起こります。家族で外出すると、帰りたい、もう帰るの！と突然言い出します。初めての場所や人混みが苦手なのです。それでも父や母は宥めます。すぐには機嫌は良くなりませんが、大好きな紅茶を買うと落ち着きます。毎回の事です。兄が少しでも楽しめたら、と家族みんな思っています。

私は両親に、兄が大変だった事があるかを聞きました。小学校低学年の頃、学校に通うバスに乗りたくないとかぐずったり、してはいけない行動を注意すると、反抗したりしたそうです。私が産まれたばかりで大変な時に、兄の事ともなると、更に大変だったろうなと思いました。それでも、障害があっても無くても、みんな同じ、と接していたようです。だめな時は厳しく注意し、出来た時には大袈裟な位にほめます。その姿を見て私も、そんな風に出たらなと思います。

私の兄は障害があるけれど、家族や友人に優しく接してくれます。時々、反抗して大変ですが、それも、障害の無い私達も同じです。私は、兄がいてくれて本当に良かったと思います。兄がいなかったら、障害について知る事も無く、私の将来の夢にも繋がらなかったと思います。私は将来、兄のような純粋で愉快的な子供達に触れ合う仕事をしたいと思っています。兄のおかげで今の私がいるのだと思います。だから私は、兄のためにこれからも大変で愉快的な毎日と一緒に過ごし、兄が笑顔でいられるように、サポートしていきたいと思っています。